

子どもものこる

親しんだ豊中の自然

Profile

ココリコ／遠藤章造さん × 田中直樹さん

1992年にコンビ結成。ともに豊中市立豊島小学校(服部西町)、豊中市立第四中学校(服部本町)卒業で、田中さんは大阪府立桜塚高等学校(中校塚)卒業。日本テレビ「タウンタウン」のガキの使いやあらへんで!!の前説を経て、レギュラーへ昇格後、テレビ朝日「いきなり!黄金伝説」フジテレビ「ココリコミニフルタイプ」など数多くの番組にレギュラー出演。近年は個々の活動もめざましい。田中さんは、ユニークな視点の動物図鑑「図解生き物が見ている世界」を著すほどの生きもの好き。



遠藤章造さん(左)、田中直樹さん(右)

豊中市服部地域で育ったココリコのおふたり。出会いは豊中市立第四中学校の野球部でした。子どもの頃、それぞれどんな遊びをしていたのでしょうか。

遠藤 僕は小学生の頃から野球少年だったので、キャッチボールの毎日でした。あの頃は、グラウンド以外にも野球ができる空き地がいっぱい残っていて。そういえば、草むら走ったらわーっとバツタが跳んでましたね。あとは服部緑地まで自転車で行って噴水の周りを回ったり。グラウンドの上を通る飛行機を見るのも好きでした。最近も見に行っただんですけど、ご存知のように省エネエンジンに変わってるので、音が小さくなってました。

田中 いやいや、みなさんご存知じゃないと思いますよ(笑)。僕は、今でも残ってるんですけど、実家のそばの田んぼや畑で生きものを捕まえて遊んでましたね。オケラやトノサマガエル、シマヘビ、ザリガニ、メダカ、カメ、いろんな生きものがいきました。近くを流れている天竺川にはフナとか、サギやカモなんかの野鳥もいっぱいいたと思います。天竺川の出発点を探そうと服部緑地の方まで行ったり。本当に自然の中で遊んでました。芸人になってからは、生きものに関する番組出演や連載をもつほどになった田中さん。

目次 特集 まちなかで自然を愛でる

- 1 とよなか魅力インタビュー
子どものころ親しんだ豊中の自然
- 3 豊中の地形を楽しむ
- 5 豊中の自然に親しむ
- 7 豊中の里山を守る
- 8 千里の美しい竹林
- 9 ホタルを守り育てる
- 11 子どもは遊びの名人
- 12 自然の再生をめざす
- 13 豊中の公園
- 15 豊中で見る野鳥

田中 大人になって生きものの形や生態にはそれぞれ理由があることを知るとどんどん面白くなり、お仕事でいろんな話を聞くことでよりいっそう好きになってる感じなんですけど。そもそも周りに生きものがある環境の中で育って触れ合ってきたからこそ、今も生きもの好きが続いているんだと思います。

遠藤 豊中のことは常に意識していて、今でも、「豊中に住むんやったら」と思って物件情報を見たりしますし(笑)。ホタルの人工飼育(9ページ参照)をしているとか聞くとやっぱりうれいすね。もともと暮らしやすい場所やなと思ってましたけど、池や川の水がきれいになって生きものが戻ってきた、みたいなのがあったら、もっといいですよ。

田中 自然って壊すのは簡単ですけど再生させるのは時間がかかりますからね。生物学で考えると、ヒトもほかの生きものと同じ自然の一部です。豊中の自然が変わらずにいてくれたらなと思います。